

ダビデの子孫が神の御子となる

主要な項目と御言葉

使徒 13 章 復活により生まれる	使徒 13:23 この人の子孫から、神は約束にしたがって、イスラエルに救い主、イエスをもたらしました。 使徒 13:33 すなわち、神は彼を復活させて、子孫であるわたしたちに、この約束を完全に成し遂げられました。それは詩篇第二篇にも、『あなたはわたしの子である。この日わたしはあなたを生んだ』と書き記されているとおりです。
ローマ 1 章 復活により明示される	ローマ 1:3 彼の御子に関するものです。この方は、肉によればダビデの子孫から生まれ、 ローマ 1:4 聖別の霊によれば、死人の復活から、力の中で神の御子と明示されたわたしたちの主イエス・キリストです。
ローマ 8 章 復活により再生され 信者は同形化を経験する	ローマ 8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの子たちの間で長子となるためです。

I	使徒行伝 13 章 復活によって生まれた	A	キリストが神の長子となるという約束と成就
		B	復活は、人イエスにとって誕生でした
		C	「今日」は主の復活の日です
		D	神のひとり子が復活において神の長子となる
		E	復活を通して信者は神の多くの子たちとして生まれます
II	ローマ 1 章 復活において明示され ローマ 8 章 復活により再生し 信者が同形化を経験する	A	キリストは明示される前から神の御子、すなわち、神のひとり子でした
		B	キリストが明示される必要がある原因
		C	キリストが明示された結果は、新しい方法で神の御子となることです
		D	キリストが明示された手段(根拠)は、聖別の霊です
		E	私たちが明示される経験とは、同形化されることです。

朝ごとの食物第 13 週：ダビデの子孫が神の御子となる

日	段落	流れ	主題	要点
1	使徒 13 章 復活により 生まれる	約束と成就	復活によってキリストが神の長子となる約束	キリストが神の長子となるという約束と成就 復活は、人なるイエスにとって誕生でした
2		神の長子として生まれる	復活によって神のひとり子が神の長子として生まれる	あなたはわたしの子、今日わたしはあなたを生んだ 神のひとり子が神の長子となる
3		神の多くの子たちとして生まれる	復活によって信者は神の多くの子たちとして生まれる	神の多くの子たちの中で、ただ長子だけが神のひとり子です 復活によって信者は神の多くの子たちとなる
4	ローマ 1 章	明示される必要がある原因	キリストは明示される前、明示される必要がある原因	キリストは明示される前、神のひとり子でした キリストが明示される必要がある原因
5	復活によって明示される	明示される結果 明示される手段	キリストが明示される結果、明示される手段	キリストは明示され後、新しい方式で神の御子と成りました キリストが明示されるのは聖別の霊による
6	ローマ 8 章 復活によって再生する	明示される経験	信者が明示される経験は同形化されることである	明示された原型と同形化の経験「大量生産」 「神となる」(団体的な表現)

まとめの言葉

キリストにおける二種類の性質を経験し享受し表現する

パウロの福音の中心、キリストにおける二種類の性質を認識する必要があります。

キリストの二種類の性質を経験し、神の長子へと同形化され、
神の御子の福音を宣べ伝え、神が多くの子たちを得て表現されるためです。

ダビデの子孫が神の御子となる

聖書:使徒 13:23, 33. ローマ 1:3-4. 8:29

神の約束の成就:主イエスは復活において神の長子として生まれました。これは神のダビデに対する約束が成就されたものです

- I. 使徒第 13 章でパウロは言いました。すなわち、ダビデの子孫から「神は約束にしたがって、イスラエルに救い主、イエスをもたらし」(23 節)、また「神は彼を復活させて、……この約束を完全に成し遂げられました。それは詩篇第二篇にも、『あなたはわたしの子である。この日わたしはあなたを生んだ』と書き記されているとおりです」(33 節):

***キリストが「神の長子」となる約束が、復活により成就される(成し遂げられる)**

- A. 32 節と 33 節でわたしたちが見るのは、キリストが神の長子として父祖たちに約束され、そして神がイエスを復活させることによって、この約束を成し遂げたということです。

***この復活は、人イエスにとって誕生でした(神の長子となる)**

- B. 復活は、人なるイエスにとって誕生でした:

1. 彼は復活において神によって生まれ、多くの兄弟たちの間で神の長子となりました——ローマ 8:29。
2. 彼は永遠から神のひとり子でした——ヨハネ 1:18. 3:16。
3. 彼は肉体と成った後、復活を通して、彼の人性において神によって生まれて、神の長子となりました——ヘブル 1:6。

***パウロが見た復活の啓示「今日、わたしはあなたを生んだ」**

- C. パウロは詩篇第 2 篇 7 節において主の復活を見ることができました。「あなたはわたしの子。今日、わたしはあなたを生んだ」:

1. パウロは「今日」という言葉で、主の復活の日に適用しました。
2. この事が意味するのは、キリストの復活が神の長子としての彼の誕生であったということです。
3. 人の子であるイエスは、死人の中から復活させられることを通して生まれて、神の御子となりました。ですから、神がイエスを死人の中から復活させたことは、神がイエスを生んで神の長子とならせることでした——使徒 13:33。

***神のひとり子が、肉体と成なり人性を着た神・人から、復活における長子となる**

- D. 神のひとり子は肉体と成ることを通して、人性を着て、神・人となりました (ヨハネ 1:14, 18. ルカ 1:35)。それからこの神・人は復活において、神から生まれて神の長子となりました (使徒 13:33. ヘブル 1:6. ローマ 8:29):

1. 神のひとり子は肉体と成る前、人の性質を持っていませんでした。彼は神聖な性質だけを持っていました。
2. 神の長子は復活において、神聖な性質だけでなく、人の性質も持っています。

***信者への適用——復活を通して信者も神の多くの子たちとして生まれました**

- E. キリストは彼の復活を通して生まれて長子となり、また同時に彼のすべての信者も生まれて神の多くの子たちとなりました——I ペテロ 1:3. ヘブル 2:10:

1. これらの多くの子たちの間で、長子だけが神のひとり子です——ヨハネ 1:18. I ヨハネ 4:9。
2. この神のひとり子は、彼の復活した人性において、神の長子でもあります——ローマ 8:29。
3. 神の長子は、神性と人性の両方を持っています。わたしたち彼の信者も、神の多くの子たちとして、人の性質と神聖な性質の両方を所有しています——II ペテロ 1:4。

神は力をもってキリストを明示した:わたしたちは、キリストがその復活において、力の中で、人の性質を持つ神の御子と明示されたことを認識し、経験する必要があるのは、わたしたちが神の多くの子たちが神の長子へと同形化され、表現するためです。

- II. わたしたちが知る必要があるのは、キリストが復活において、力の中で、人の性質を持つ神の御子と明示されたということです——ローマ 1:3-4:

***キリストは明示される前、すでに神のひとり子でした**

- A. キリストは肉体と成ることと復活の前、神の御子、すなわち、ひとり子でした——ヨハネ 1:18. 3:16。

***キリストが神の御子と明示される必要があった原因**

——彼は肉体と成ることによって、神性とは何の関係もない人の性質を着ていたからです

- B. キリストは肉体と成る前、すでに神の御子でしたが、復活から神の御子と明示される必要が依然

としてありました。なぜなら、彼は肉体と成ることによって、神性とは何の関係もない人の性質を着ていたからです——ヨハネ 1:1, 14. ローマ 8:3 :

1. 神の御子が肉体と成った後、彼の神聖な性質は肉体によって隠されました。
2. キリストは彼の神性においてすでに神の御子でした。しかし、マリアから生まれた、人の性質を伴うイエスである彼のその部分は、神の御子ではありませんでした——ルカ 1:31-32, 35。
3. キリストは彼の復活によって、彼の人の性質、すなわち彼の人性を聖別し、引き上げました。また彼は復活から、この人の性質を伴う神の御子と明示されました。この意味で、彼は復活の中で神の御子として生まれました——ローマ 1:3-4. 使徒 13:33. ヘブル 1:5。
4. このように神の御子と明示されたことは、「力の中で」、すなわち、キリストの復活の力の中であり、その実際はその霊です——ローマ 1:4. ピリピ 3:10. エペソ 1:19-20。

*キリストが明示された結果は、新しい方法で神の御子となることです

- C. 復活の中で明示されることを通して、肉体と成る前にすでに神の御子であったキリストは、新しい方法で神の御子となりました——ローマ 1:4 :

*肉体と成る前——彼は神性だけを持つ神の御子でした

1. 彼は肉体と成る前、神性だけを持つ神の御子でした。彼は復活を通して、神性と人性の両方を持つ神の御子と明示されました——4 節。
2. もしキリストが人の性質を着なかったなら、神の御子と明示される必要はありませんでした。なぜなら、彼は永遠からさえ、神性においてすでに神の御子であったからです——ヨハネ 1:18. 17:5。

*肉体と成ることを通して：彼は人性を着ました。彼の人性は神の御子ではありませんでした

*復活の中で：彼の人性は復活の中で引き上げられ、彼は人の性質を持つ神の御子と明示されました

3. 彼は肉体と成ることを通して人性を着て、復活の中で、人性を持つ神の御子と明示されました——ヨハネ 1:14. ローマ 8:3. 1:3-4. ヘブル 2:14 :
 - a. キリストは明示された神の御子として、二つの性質、すなわち神性と人性を持っています。今や彼が持っている人性は、天然の人性ではなく、復活の中で引き上げられた人性です——ローマ 1:4。
 - b. キリストの人の性質でさえ神の御子と明示されました。なぜなら、彼は神性と人性の両方を持つ神の御子と明示されたからです。

*キリストが明示された手段(根拠)は、聖別の霊です

- D. キリストが人性を持つ神の御子と明示されたことは、「聖別の霊に」よりでした——ローマ 1:4 :

*聖別の霊により：神聖な霊のパーソンではなく、キリストの神聖な本質、またキリストの神性を指しています

1. 聖別の霊は、主イエスの内側にある命の本質です。彼が地上で肉体の中で生きていた時、彼の内側にはこの本質がありました——マタイ 1:18, 20. ルカ 1:35。

*力の中で、すなわち、キリストの復活の力の中であり、その実際はその霊です

2. 主イエスは死人の中から復活させられた時、彼の中にあった聖別の霊によれば、復活により、力の中で、神の御子と明示されました——ローマ 1:4。

*神の御子と明示された、

3. 彼は今や以前にもましてすばらしい方法で神の御子です。なぜなら、彼は今や神聖な性質と、人の性質（復活させられ、造り変えられ、引き上げられ、栄光化され、明示された人の性質）との両方を持っているからです——ローマ 6:4. ルカ 24:26. ヨハネ 17:5. 使徒 3:13。

*信者が明示される経験は、同形化されることです

- E. わたしたちはローマ第 1 章 3 節から 4 節と第 8 章 29 節を結び付ける必要があります：

*原型と大量生産/明示されることと同形化の経験

1. 肉体と成ること、十字架、復活を通して、神の御子であるキリストは、神の長子となりました。そして多くの子たち、すなわちキリストの兄弟たちは、キリストのかたちに同形化されつつあります——ヘブル 2:10-11. ローマ 8:29。

*

2. ローマ第 1 章 3 節から 4 節で、神の御子であるキリストは原型です。第 8 章 29 節で、多くの兄弟たちは、原型から「大量に生み出された」人々たちです。彼らは命の中で救われることによって、神の長子のかたちに同形化されます。

*「神化」(deification)——神となる

3. この事はわたしたちを神化の事柄にもたらしめます。またこの事が暗示しているのは、神のエコノミーにおける神の意図が、彼ご自身を人と成らせ、それによってキリストの中で、キリストにある信者であり神の子供たちであるわたしたちを、命、性質、構成において（しかし、神格においてではない）神とならせるということです。そのような暗示は極めて重要であり、最終的に、聖書はこの事柄をもって究極的に完成します——ローマ 8:29. 1:3-4. ヨハネ 1:1-13. I ヨハネ 3:1. 啓 21:2, 10-11。

神の子に関するまとめ、整理	
神のひとり子	神聖を持つ神の御子であり、 肉体となることを通して人生を着て、神・人となりました ヨハネ 1:18 いまだかつて、神を見た者はいない、父の懷におられるひとり子、この方だけが、父を明らかに示されたのである 3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、世の人を愛された。
神の長子	復活の中で、彼の人性は神の御子として明示され、 復活の中で、神聖な性質を持ち、また人の性質も持った神の御子です ローマ 8:29 神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多く兄弟たちの間で長子となるためです。 ヘブル 1:6 そして神は、長子を人の住む地に再びもたらす時、「神のすべての御使いは、彼を拝しなさい」と言われます。
神の多くの子たち	長子(原型)からの「大量生産」であり 人性と神性の両方を持ち、命の中で救われることによって、神の長子のかたちに同形化された人たちです ローマ 8:29 神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多く兄弟たちの間で長子となるためです。 ヘブル 2:10 万物がその方のために存在し、万物がその方を通して存在する方が、多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、